

# 寺報 龍正寺

日なた 145号

環境  
第一

甘美



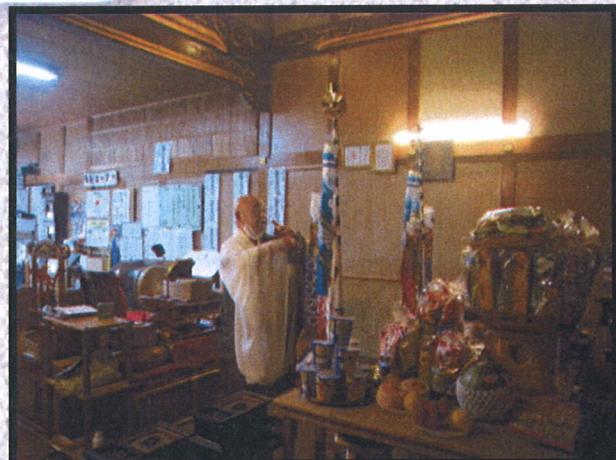
一

<令和 2年 6月>

宝龍会  
護持会

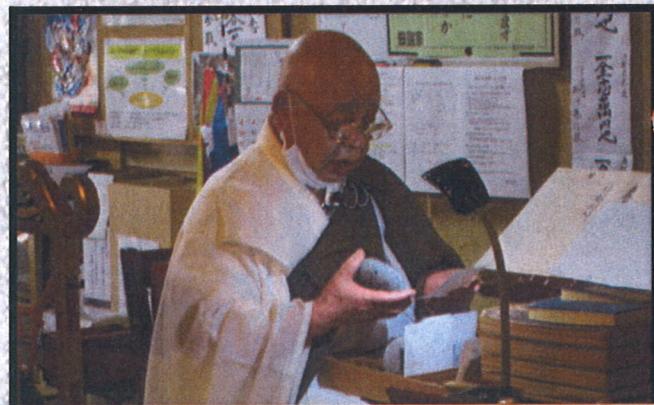
# 令和2年子供祈祷会

新型コロナのため、子供さん達の出席はありませんが、子供達のためにも、お題目、お経を唱えました。



お題目石祈願

我が子の幸せを願う親心



子供達が自宅で記入したお題目石をご祈祷していただきました



# 往 聖 一 言

全世界、日本国内においてもコロナウイルス菌(疫病)

により社会が大きくゆがみました。

日々不安と恐怖の中で生活しています、そしてもっと  
怖い目に見えないウイルス菌より、私たちの心まで  
もゆがんでしまっている事です。

日蓮大聖人は御遺文立正安國論に  
(5月の聖人カレンダーの聖語より)

「<sup>ま</sup>  
<sup>ほ</sup>  
蘭室の  
夜に交わり  
麻歎の性と成る」

と書かれておられます。

蘭が置れた部屋に入ると、その香りが気づかぬうちに身にしみこみ、自分もよい香りとなり、同様に横に広がる性質の蓬も直ぐに伸びる麻の火団に植えると、不思議と上に向かって伸びると言う事です。私たちの家庭環境を変る事、自分自身の持つ固定

観念を変えて見る事で、心安らぐ力を増し品格を向上させる源になるでしょう。

お寺においても、御家庭においても、唱える南無妙法蓮華経の響きが私たちに仏様が品格を与えて下さいます。

各々が健康に気を付けて自分自身の身体を守りコロナウイルス菌(疫病)に負けない様にお過ごし下さいます事をお祈り申し上げます。

合掌

寺報 日なたをお読み下さいる皆様 御一緒に  
お題目をお唱え下さい。

な む みょう ほう げ きょう  
南 無 妙 法 蓮 華 経

## 感謝

私の弟はお寺には数年に1回来るか来ないかでした。

今年に入ってからは、実家のトラブルや自身の今後の人生を考えて、手を合わせに来るようになっていました。

私が5月からコロナの対応に行く事になり、身を束じた弟は、現在お付き合いしている相手を紹介してくれました。

会った後、弟はあれよあれよという間に事が進み結婚することになりました。

例祭にも顔を出す事が増えました。

5月の例祭の日、弟は馬主車禁止の紙を車に貼られてしまいました。

「今日は来るまでに邪魔されていてと思う。いつも通る道で来れば、時間までに来れたのに、トラックや遅い車に行きして、いつもは通らないような道で来ていた。その間邪魔されているなあと想いながら、必ず行くと決めてお寺に向かっていた。」

「お寺に来た時、駐車場なくてやばいかなと思うのと、嫌な予感するなと思いつつ、短時間ならいいかという思いもあって車を止めた。例祭後見に行ったら、駐車禁止の紙貼られていた。」と一時的にショックは受けましたが、すぐさす「これは俺がねーちゃんに駐車場の場所を聞けば良かったことであって、仏様にきちんとしろよと言われてるような気がするわ、結婚に

対しても、いいかげんな思いではいかんなどと思ったわ」

弟は仙様に教えられたと理解している中、私の方がショックが大きく引きずっていました。

弟は気持ちをすでに切り替えていました。

昼食をとりながら会話している時に、今まで手を合わせてこなかった事への反省や、お上人は皆のためにお経を唱えてくれてるけど、自分は自分の事でしか手を合はせていない。お上人に感謝しないといけないなど、反省や感謝の言葉が溢っていました。

弟の言葉から気がつかれる事も多く、仙様が感謝の考え方を教えて下さったと思います。

# 頭陀第一 (払い落す。むごほり、怒り、無駄の煩惱)

コロナウイルスによって全世界そしてこの日本も大きな痛手を負いました。

またまた第2波・第3波の恐怖は続いています。

しかし、たたかえ振り回さるだけではありません。

コロナと命をかけて戦って下さっている医療従事者の方々、常業停止の中で生活を護る為に新たな常業方法を摸索し戦っている方々、学ぶ事、遊ぶ事を抑制させている子供達、生活苦困難の中で、乗り越えようと必死に向ひあつている方々、日本中の名々がコロナと戦っている!!

しかし、価値感などの違いから、医療従事者の方々を誹謗、中傷したり、自肃警察などといふ人が出現したり…。

人の心までコロナに蝕まっています。

ある日、御住職から冊子を頂きました。その山は日蓮宗東京

都西部教化センター制作の十大弟子を生きる「おぼん」

「頭陀第一の摩訶迦葉」

この中に「摩訶迦葉の生き方」、私達に経済中心の価値観から、新しい価値観への転換期にモテいる事を示唆しています。

とありました。

「今こそ「頭陀」という生き方が大切、行う時に忘れてはいけないのが、「他人に対する優しさ」自分自身にはストレーグに清淨な生活を求める、他人には優しくて触山合う摩訶迦葉の生き方こそ、今の私達が手本とする生き方。そしてこのようにも書かれていました。どうしたら考へる達う者同士が共存できるのか、どうしたら怒りなく他人を許せるのか。すべての苦しみは自分の無知からうま山でくるのです。」とありました。まさにその通りだと思ひます。

誰もがこの困難に立ち向ってはります。だからこそ頭陀第一の心で摩訶迦葉の生き方を学び、コロナに立ち向っていきたいと思ひます。アッタのお言葉に「たゞ教えるだけ…そんを身につけるのは己したい。」とありました。

ウイルスと共に存していく中で各自の生き方をみつめてみませんか。

コロナが要因にはなりましたが、人生をみつめ直す事が出来ました。

今後の生き方をしっかりと考えようと思う事が出来ました。ヒーヒをチャンスに、ネガスをプラスに！していきたいと思ひます。

次のような冊子にめぐりあえた事に感謝致します。

## 〈 6月の行事予定 〉

6月 7日 (日) 13:00 ~

役員会

13日 (土) 10:00 ~

宗祖日蓮大聖人報恩会

18日 (木) 10:00 ~

鬼子母尊神  
七面大明神 ) 祈祷会

## 〈 6月住職予定 〉

寺院にて 法事

## 〈 6月の予定 〉

6月 6日 (土) 各々の時間で

清掃、準備

↓

↓

↓

12日 (金)

法要後

片付け、準備

13日 (土)

各々の時間で

清掃、準備

14日 (日)

↓

↓

17日 (水)